

「グローバル教養学環」の文部科学省への設置届出が受理

ー 2024 年 4 月に「グローバル教養学環」を新設し、8 学部 1 学環へ。4 年間で 2 か国以上の海外学習を経験するグローバル教養学位プログラム“STAGE”（1 学年定員 25 名）を開設 ー

甲南大学が、2024 年 4 月開設に向けて準備を進めておりました「グローバル教養学環」について、2023 年 6 月 22 日付で、文部科学省への設置届出が受理されました。

既存の 8 学部に加え、「グローバル教養学環」を新設し、学部等連係課程制度※1 を活用した「グローバル教養学位プログラム“STAGE”」を開設いたします。「人物教育の率先」「世界に通用する紳士・淑女たれ」という建学の理念を掲げて培ってきた、これまでのグローバル教育の伝統と実績を生かし、新たな革新による魅力あるグローバル教育の更なる展開をはかります。

ポイント

- 世界基準で考え、グローバル人材として、社会の第一線で活躍できる人物を育成
- 4 年間で 2 か国へ留学する「ダブル留学」を通して、複数の言語運用能力と異文化に対する思考を養う
- 課題解決力を身につけるために社会科学、国際理解、データサイエンス・AIなどを幅広く学ぶことが可能
- 専用となる学びの拠点や教員陣による充実した指導体制等、特別な環境を設け、4 年間の学びを徹底サポート

グローバル教養学環“STAGE”の特色

新たに開設するグローバル教養学位プログラム“STAGE”は、「Special Track for Accelerated Global Education」の頭文字をとった略称で、グローバルキャリアを志す 1 学年定員 25 名のための特別なプログラムとして設計されています。

STAGE 生（グローバル教養学環生）は、4 年間で異なる言語圏での学習や生活を経験する「複数言語圏へのダブル留学」を通して、複数の言語運用能力と異文化調整能力を養います。グローバルやローカルの課題に対する問題意識や関心を掘り下げ、留学中の学生と国内の学生がオンラインを活用してリアルタイムに議論します。また、「国際理解」「社会科学」「データサイエンス・AI」「実践的な課題解決に取り組むプロジェクト」等、文理横断的な知識や技能を学び、企画立案力、提案力を備えることで、国際社会又は地域社会の持続的な発展に貢献し、活躍するために必要なグローバル教養を身につけます。

学 位	キャンパス	入 学 定 員	収 容 定 員
学士(グローバル教養)	岡本キャンパス	25人	100人

（プログラムの特徴、概念図、卒業後の進路と次ページ以降をご参照ください）

グローバル教養学位プログラム STAGEの4つの特徴

01

複数言語圏への ダブル留学

複数の言語圏で学び、暮らす 2か国以上へ旅に出よう

複数言語圏への「ダブル留学」を卒業の要件として、異なる言語圏での留学や生活を体験し、異文化に対する思考を養います。大学在籍中に複数の外国語によるコミュニケーション能力を高め、留学によって現地の生活空間に身を置くことで、様々な国の人々と意思疎通を図り、異文化に触れる経験をすることは重要です。「ダブル留学」を通して、異文化を単に比較し相違点に気づくだけでなく、異なる文化背景を持った人々や社会に対する寛容性と、価値観の違いに起因する様々な問題解決のための能力を育てます。

02

入学から卒業まで STAGEのゼミ

仲間と切磋琢磨し、グローバル人材へ STAGEのゼミ

1年次から4年次までの間、少人数クラスのゼミを必修科目としています。1学年定員25名に対して、11名の教員陣がアカデミックアドバイザーとして、チーム体制で指導にあたり、入学から卒業までみなさんの成長を支えます。ゼミでは、「ダブル留学の計画発表」、「世界のニュースを基にしたワークの実施」、「留学中に海外からゼミ参加」、「国際交流イベントの企画・実施」、「外国人留学生や学外の企業・自治体等とのプロジェクト」、「海外大学とオンライン上でのCOIL授業」など、刺激と挑戦に溢れた取り組みを実施します。

03

社会科学、国際理解 データサイエンス・ AI等 幅広い学び

グローバル人材になるための幅広い学び

（社会科学・国際理解）

経済学、法学・政治学、経営学の幅広い知識は、課題解決につなげる政策の企画・策定に関わる上で必要です。また、グローバルに活躍するためには、世界が直面している課題を学び国際社会を理解することも重要です。キャリアプランの実現に向けて、社会科学・国際理解を幅広く学びます。

（データサイエンス・AI）

統計・データサイエンス・AI等を活用して、地域課題等の解決ができる人材になる素養を身につけることを目標に、リテラシーから応用基礎レベル相当までを学習することができます。また、情報倫理やセキュリティ問題について必要な知識を得る科目も配置します。

04

企業・行政等 連携による グローバル実践PBL

地域や企業が抱える実践的な課題に グローバルな視点から解決に取り組む

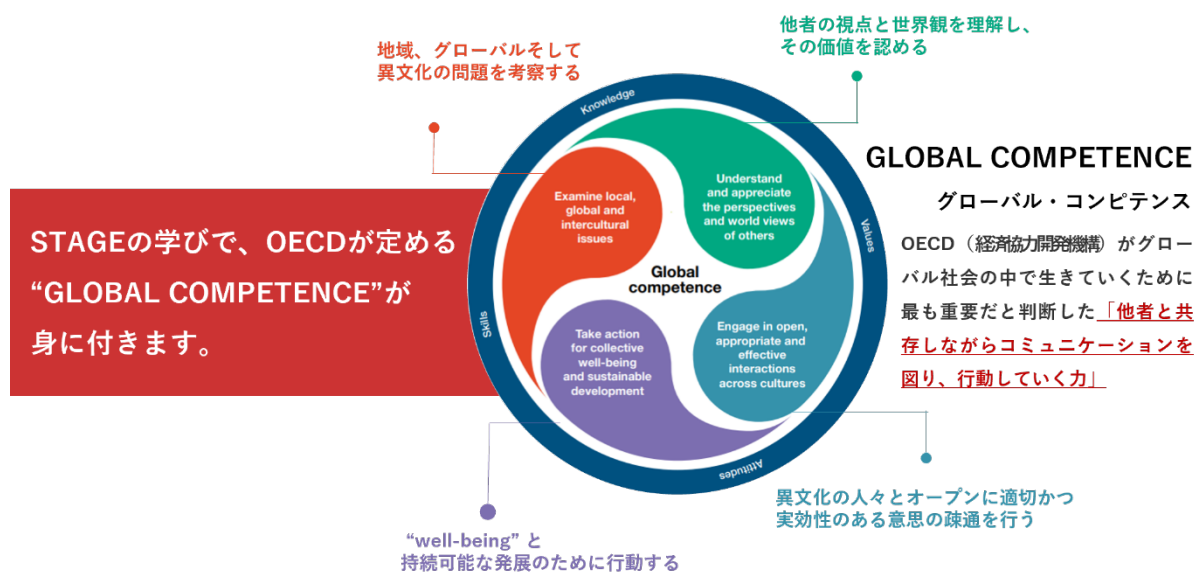
企業や行政等から課題を受け、グローバル力による解決を目指す「グローバル実践プロジェクト科目」を配置しています。留学での経験や社会科学の知識、データサイエンス・AI活用力を活かし、地域や企業が抱える課題解決に取り組みます。

グローバル教養学位プログラム「STAGE」概念図



“STAGE”では、「複数言語圏へダブル留学」を卒業の要件のひとつとするとともに「複数言語の運用力強化」、「社会科学（経済・法・政治・経営）」、「グローバル実践 PBL」、「データサイエンス・AI」等を適切に組み合わせて学びます。世界基準で考え、行動できるグローバル人材として、キャリアを切り拓いていくことに力点を置いています。また、“STAGE”の学びで、OECD（経済協力開発機構）が定める“GLOBAL COMPETENCE”を身につけることができます。

GLOBAL COMPETENCE



グローバル・コンピテンス4側面

出典（OECD, 2018, <https://www.oecd.org/pisa/Handbook-PISA-2018-Global-Competence.pdf>）

CAREER



※1 <学部等連係課程制度について>

2018年に文部科学省が取りまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」では、変化が激しい社会において、分野を越えた専門知の組み合わせが必要とされていることから、学部等の組織の枠を越えた学位プログラムを設置可能とし、社会のニーズに対応した幅広い分野からなる文理横断的なカリキュラムに積極的に取り組むことができるようにすることが提言されました。この提言に基づき、2019年には関連法令が改正され、従来の学部学科の組織の枠を超えた学位プログラムの実施が可能となる「学部等連携課程制度」が整備されました。

《プレスリリース全体に関するお問い合わせ先》

甲南学園広報部

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

電話 078-435-2314 FAX 078-435-2546 E-mail: kouhou@adm.konan-u.ac.jp

《本件に関するお問い合わせ先》

甲南大学全学教育推進機構事務局

グローバル教養学環 STAGE 開設準備事務局

電話 078-435-2544 E-mail: konanstage@adm.konan-u.ac.jp

プレスリリース配信先：兵庫県教育委員会記者クラブ、神戸市政記者クラブ